

彩の国さいたま芸術劇場

Dance Redirection

ダンス・リダイレクション 2025 〈下半期〉

ジュリー・シャナハン、瀬山亜津咲、
レジナルド・ルフェーブルを迎えた
ピナ・バウシュ・ラボ

Pina Bausch Lab
with Julie Shanahan, Azusa Seyama,
and Reginald Lefebvre

ピナ・バウシュ作品のエッセンスを学ぶ集中ワークショップ

Photo. Wilfried Krüger

協力：ピナ・バウシュ財団

PINA
BAUSCH FOUNDATION

2025年12月2日(火)～6日(土) 彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場

彩の国さいたま芸術劇場芸術監督・近藤良平のビジョンのもとスタートし、未来のダンス界を担うクリエイター育成を目指す「ダンス・リダイレクション」。その下半期プログラムとして12月には、ダンスと演劇が共生する〈タンツテアター〉の手法により、20世紀のダンス・演劇を変えた振付家、ピナ・バウシュ作品のエッセンスを学ぶ集中ワークショップ「ジュリー・シャナハン、瀬山亜津咲、レジナルド・ルフェーブルを迎えたピナ・バウシュ・ラボ」を実施します。

ヴァッパタール舞踊団ダンサーのジュリー・シャナハン、瀬山亜津咲、レジナルド・ルフェーブルを講師に迎え、ピナ・バウシュの作品世界を探究する5日間の集中ワークショップ。最終日には成果発表としてショーイングを予定しており、ピナのレパートリー、アプローチを直接体験しながら、新たな発想を手に入れ、作品創作のためのアイデアやクリエイティブな引き出しを増やすまたとない機会です。

■日程：2025年12月2日(火)～6日(土)10:00～18:00予定 ※6日(土)14:00～ショーイング実施(予定)

■会場：彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場

■講師：ジュリー・シャナハン、瀬山亜津咲、レジナルド・ルフェーブル(ヴァッパタール舞踊団)

■参加費：20,000円(税込) ※『Sweet Mambo』埼玉公演チケットをお持ちの方は15,000円(税込)

■定員：20名程度

■対象：16歳～40歳のダンサー、振付家、ジャンルを超えて身体表現に関わる表現者、クリエイター

※原則、全日程参加できる方。 ※ダンス経験のジャンルは特に問いません。 ※対象外の年齢の方は相談可。

※やむをえない事情により内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

ピナ・バウシュ・ラボは、専門家の指導のもとでピナ・バウシュの振付の世界を探究する機会です。
ピナ・バウシュの作品や人生についての詳しい情報はこちら www.pinabausch.org ▶▶▶



お申し込み方法・詳細は裏面をご参照ください。 お申し込み締切：2025年10月13日(月祝)必着

ダンス・リダイレクション登録アーティスト募集中

彩の国さいたま芸術劇場での公演、ワークショップ、リハーサル見学
などのご案内を不定期配信！(随時募集・登録無料)

詳細はQRコードより▶



主催・企画・制作：
公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
(彩の国さいたま芸術劇場)
協力：ピナ・バウシュ財団
助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



Photo. César Vayssié

ジュリー・シャナハン Julie Shanahan

ピナ・バウシュ ヴァッパタール舞踊団ダンサー。
オーストラリア・アデレード生まれ。1981年、センター・フォー・ザ・パフォーミング・アーツを卒業。シドニーのワン・エクストラ・ダンス・カンパニーに所属後、1984年よりラインヒルト・ホフマン率いるブレメン舞踊団に加わり、舞踊団と共にボーフム市立劇場に移籍。1988年、ピナ・バウシュ ヴァッパタール舞踊団に入団し、ダンサーおよびリハーサル・ディレクターとして活躍するほか、バウシュ作品の再演にも携わる。近年はティム・エッチェルス、アラン・ルシアン・オイエン、ライナー・ペーアらと創作を行い、2021年にはロバート・ウィルソン演出による《I was sitting on my patio this guy appeared I thought I was hallucinating》に、2022年からジゼル・ヴィエンヌ演出《L'Etang (池)》に出演、ツアーにも参加している。



Photo. Claudia Kempf

瀬山亜津咲 Azusa Seyama

ピナ・バウシュ ヴァッパタール舞踊団ダンサー。
瀬山紀子、石沢秀子にクラシックバレエを学ぶ。2000年にピナ・バウシュ ヴァッパタール舞踊団に入団。バウシュとのクリエイションに参加するほか、『カフェ・ミュラー』など代表的なレパートリー作品へ出演。2014年、さいたまゴールド・シアターへ新作『KOMA』を振付。世界中のカンパニーによるピナ・バウシュ作品の再演にリハーサル・ディレクターとして携わる。アクラム・カーン・カンパニー、ファビアン・プリオヴィル・ダンス・カンパニー、アラン・ルシアン・オイエン率いるウィンターゲッツのリハーサル・ディレクターとして活躍するほか、ワークショップ・ファシリテーターやコーチとしても注目されている。昨年の「ダンス・リダイレクション集中セッション」ではメイン講師を務めた。ダンサーとして映画『Pina/ピナ・バウシュ 踊り続けるいのち』（ヴィム・ヴェンダース監督/2011年）にも出演。



Photo. César Vayssié

レジナルド・ルフェーブル Reginald Lefebvre

ピナ・バウシュ ヴァッパタール舞踊団ダンサー。
フランス・コルシカ島生まれ。幼少期よりバステリア音楽舞踊院でダンスを学び、2012年にローザンヌのルードラ・ベジャール・バレエ・アカデミーを卒業後、マドリードのマリア・デ・アラ国立高等舞踊学校で1年間研鑽を積む。2013年、バルセロナのユースカンパニー「IT Dansa」に入団。アレクサンダー・エクマン、ラファエル・ボナチェラ、シディ・ラルビ・シェルカウイ、イリ・キリアン、ナチョ・ドゥアトラ、数多くの振付家の作品に取り組む。その後ドイツへ拠点を移し、シュツットガルトのゴータイエ・ダンスに在籍。ホフェッシュ・シュクター、オハッド・ナハリ、マルコ・ゲッケら多彩な振付家の作品を踊る。2021年より、ピナ・バウシュ ヴァッパタール舞踊団のメンバーに加わる。

COMING SOON



【お申し込み方法】 下記QRコードよりお申し込みフォームへアクセス、必要事項をお送りください。

- ①氏名 ②フリガナ ③性別 ④年齢 ⑤生年月日 ⑥郵便番号 ⑦住所 ⑧電話番号 ⑨メールアドレス
- ⑩ダンス経験あるいは舞台経験・身体表現にまつわる経験
- ⑪ピナ・バウシュ・ラボに参加したい理由(400字以内)
- ⑫顔写真1枚(JPEG・1MB以内)※ファイル名に氏名必須
- ⑬動画リンク【必須】自作自演のダンス動画(3分以内)
- ⑭動画リンク【任意】過去に自分が振付あるいは出演した作品動画(3分以内)

【お申し込み締切】2025年10月13日(月祝)必着

※応募者多数の場合は書類選考させていただきます。 ※結果は11月中旬(予定)までに、応募者全員に通知します。
※定員に余裕がある場合のみ、締切後でも受け付けます。

【お問い合わせ】 彩の国さいたま芸術劇場(舞踊担当)

Email: workshop@saf.or.jp Tel: 048-858-5506 (土日祝・休館日を除く10:00~18:00)

お申し込みフォーム



ピナ・バウシュ ヴァッパタール舞踊団

'Sweet Mambo'

スウィート・マンボ
A piece by Pina Bausch

愛する人々への惜別の歌——

ピナ・バウシュ最晩年の作品を、最愛のダンサーたちが踊り継ぐ

2025年

11/27(木) 19:00, 28(金) 19:00, 29(土) 15:00, 30(日) 15:00開演

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール <チケット好評発売中>

SAFオンライン
チケット



Photo. Karl-Heinz Krauskopf